

# テキスト等の見直し

令和 8 年 3 月 1 6 日

## 在り方検討会や策定会議の有識者から頂いた教材に関する意見（一部抜粋）

- 排外主義的な言動が増えているため、クレーム対応やプレッシャーに対する向き合い方などの知識やスキルが習得できる講義があるといい。
- 特定集団への攻撃やインターネット上でのヘイトスピーチの増加・拡散が問題化していることに触れた方がよい。
- 社会全体の変化に対応するため、外国人支援の必要性や重要性を盛り込むほか、外国人支援コーディネーターの役割として、外国人への支援だけでなく、地域に対する啓発活動を追加することを検討してもらいたい。
- 日本語教育の記述が手薄な印象がある。地域日本語教室についての記述が必要。
- まずは「制度改正」の部分について、きちんと反映させた方がよい。

## 令和7年度（第1期）受講生向けアンケートにおける意見（一部抜粋） –教材関係–

- 国際交流協会などの研修では、相談技法などの科目群Dに関する講義を受講できる機会がほとんどないため、今回、詳しく学ぶことができ大変参考になった。
- 講義全般が役に立つ内容だったが、特に、科目群Dの「第1章 相談面接に係る知識と技術」、「第2章 相談支援のプロセスに係る知識と技術」、「第5章 事例・事例検討の意義と方法・スーパービジョン等」はとても役立つ内容だと思う。
- 日本語ができれば、大多数の方は大概のことは自分でできると実感しているため、日本語教育、特に地域日本語教育（日本語教室）へのアクセスが重要だと考える。他の分野に比べて日本語教育に関する講義の分量がまだ少ないと思われる。
- ここ数年のうちに変更になった永住許可制度や「経営・管理」の概要など、入管職員から在留資格などで注意してもらいたいことなどがあれば教えてほしい。若しくは受講者から変更内容等について質問できる時間があるといい。



## 有識者や受講生の意見を踏まえた教材の見直し方針

- ・ 講義全般が役に立つという受講生の意見が多いため、**講義の削減はしない。**
- ・ 排外主義的な言動や社会情勢に対応するため、外国人支援コーディネーターに求められる役割として、**地域に対する啓発活動に関する内容を追加**するほか、新たに**クレーム対応に関する講義を追加**し、**外国人支援の必要性・重要性やヘイトスピーチによる社会問題に関する内容を追加**する。
- ・ **地域日本語教育等に関する内容を追加**する。
- ・ 現行の教材確定後に改正された制度改正の内容を盛り込む（例えば、永住許可制度の適正化、在留資格「経営・管理」の概要、育成就労制度等。入管法以外の改正も含む。）

# 有識者及び受講生からの意見を反映させたテキストの内容（案）

## 科目群 A 外国人支援コーディネーターを導入する意義

### 第1章 外国人との共生社会の実現

第1節 外国人との共生社会の実現に向けた取組の背景と意義

第2節 基本的人権の尊重

※ヘイトスピーチによる社会問題に関する内容を追加

第3節 外国人支援コーディネーターの社会的意義

※外国人支援の必要性・重要性に関する内容を追加

### 第2章 外国人支援コーディネーターの役割等

第1節 外国人支援コーディネーター

※地域に対する啓発活動に関する内容を追加

第2節 外国人支援コーディネーターが備えるべきマインド

## 科目群 B 外国人の在留状況を正確に把握するために必要な知識

### 第1章 外国人の入国・在留の状況

第1節 外国人の入国・在留

第2節 入管法の目的等

第3節 外国人の出入国

第4節 相談事例

### 第2章 在留

第1節 在留資格制度

※永住許可制度の適正化や在留資格「経営・管理」の概要、育成・労働制度等に関する内容を追加

第2節 在留資格に関する手続

第3節 中長期在留者の在留管理制度

第4節 特別永住者に係る制度

第5節 相談事例

### 第3章 退去強制

第1節 退去強制手続

第2節 関連制度

### 第4章 難民等の認定

第1節 難民条約、入管法における難民及び補完的保護対象者

第2節 難民等の認定手続

第3節 審査請求

第4節 一時庇護のための上陸許可

第5節 相談事例

## 第5章 国籍

第1節 国籍の概念

第2節 日本国籍の取得等に関する手続

第3節 相談事例

## 科目群 C 異なる文化や価値観を理解するために必要な知識

### 第1章 多様な背景を持つ外国人への相談支援

第1節 母国以外での生活の困難さ

第2節 多様な背景を持つ外国人への相談支援の特徴

第3節 異なる文化や価値観への理解とそうした理解に基づく相談支援の必要性

第4節 相談者と相談対応者双方の心理的負担への理解の必要性とメンタルヘルス・リテラシー、メンタルヘルス・ファーストエイド

### 第2章 異文化理解論

第1節 文化や価値観を理解する

第2節 異文化に適応していく過程

第3節 異文化や価値観を理解する

第4節 諸外国の社会制度

第5節 やさしい日本語を使ったコミュニケーション

## 科目群 D 外国人の複雑・複合的な相談内容に対して適切な解決策まで導くために必要な知識及び技術

### 第1章 相談面接に係る知識と技術

第1節 適切な相談面接の必要性

第2節 相談面接に際して求められる基本的な行動と態度

第3節 相談面接に望ましい形態と環境

第4節 相談者との信頼関係の構築

第5節 相談面接の技法

第6節 問題を適切に把握するために必要な視点・確認ポイント

第7節 面接内容の記録方法と留意事項

### 第2章 相談支援のプロセスに係る知識と技術

第1節 相談支援の基本的なプロセスと分野横断的な観点（横串の発想）の必要性

第2節 主訴の内容を適切に把握・理解するためのポイント

第3節 相談者の背景と周りの状況を把握・理解するポイント

第4節 主訴を起点として問題状況の全体と要因を把握して見極めるためのポイント

第5節 分野横断的な支援プランの立案

第6節 こころの支援が必要な相談者の特徴と適切な対応のポイント

## 第3章 外国人支援コーディネーターの価値・倫理及び自己理解・他者理解

第1節 外国人支援コーディネーターの価値・倫理

第2節 自己理解・他者理解

※クレーム対応に関する内容を追加

## 第4章 外国人の生活問題とその背景（児童・女性・高齢者・労働者等）

第1節 外国人が直面しやすい生活上の困りごとやその背景について

## 第5章 事例・事例検討の意義と方法・スーパービジョン等

第1節 事例検討

第2節 専門職としての知見の共有等

## 科目群 E 外国人を適切な支援へ円滑につなげるために必要な知識

### 第1章 外国人との共生施策の現状

第1節 外国人との共生社会の実現に向けた政府の取組

### 第2章 関係機関の役割及び各行政サービス

第1節 在留支援

第2節 住民基本台帳、転出入

第3節 戸籍、相続

第4節 妊娠、出産、育児

第5節 教育

第6節 日本語教育

※地域日本語教室などに関する内容を追加

第7節 雇用・労働

第8節 医療等

第9節 福祉一般

第10節 税金

第11節 人身取引

第12節 DV

第13節 その他

### 第3章 関係機関等との関係構築及び連携に関する技術

第1節 外国人支援コーディネーターとして、他の関係機関と連携・協働する必要性、基本的態度

その他有識者から寄せられた意見を踏まえつつ、制度改正や資料の更新などを中心に各省庁や講師の修正意見を反映させた上でテキスト及び講義動画を作成する。